

市長	副市長	部長	課長等	リーダー	担当	供覧	報告者
第4回養父市振興計画審議会会議録							
期 日	平成22年2月23日(火) 午後1時30分～4時20分						
場 所	養父市立関宮エイドホール2階 会議室						
出席並びに欠席委員 出席20名 欠席5名 凡例 ○：出席 ×：欠席	委員氏名		出欠等	委員氏名		出欠等	
	会長	荒田幹夫	○	委員	仮屋美子	○	
	副会長	大林賢一	○	委員	宇都良栄子	×	
	副会長	正垣道子	○	委員	梅井逸郎	○	
	委員	池田和揮	×	委員	村上隆司	○	
	委員	山下邦子	×	委員	田渕久和	×	
	委員	雑賀 学	○	委員	吉田明博	○	
	委員	圓山 光	○	委員	米田一之	○	
	委員	松岡 勇	○	委員	池田ビルギット	○	
	委員	田中今子	○	職員委員	満田理恵	○	
	委員	田村 譲	○	職員委員	奥藤 啓	×	
	委員	山根美智子	○	職員委員	井平 聡	○	
	委員	小松原貴美子	○	職員委員	塚本 竜	○	
	委員	藤原光子	○				
アドバイザー	松原永季・スタジオ・カタリスト代表取締役					○	
事務局	政策監理部長	児島一裕	×	企画政策課主査	田村光司	○	
	企画政策課長	阿部 稔	○	企画政策課主査	岡 和昭	×	
	企画政策課副主幹	藤野英希	○	企画政策課主査	安達洋道	×	
<p>1 開会 (大林副会長)</p> <p>2 あいさつ (荒田会長)【地区内でゴミをポイ捨てする人を見て】注意したが「俺の勝手だ」と言われた。総合計画も計画を理解し、実践してくれる人ばかりではないが、明るく、誇りのもてるまちづくりを進めるため、時間はかかるが、輪が広がるような計画づくりに向け、ご議論いただきたい。</p> <p>3 進め方の説明 (松原アドバイザー) 前回は、それぞれの立場から網羅的に意見を出してもらった。中には、理念的なもの、具体的な施策になるもの、さまざまである。本日は、これを理念、施策等に分けていただく。</p> <p>4 前回の振り返り (松原アドバイザー) 別紙の「これからの養父市の望ましい将来像を描く(1)」の意見のまとめにより、前回のまとめを再度確認。計画をゼロから作っていくという方法もあるが、今の計画を元に考えるのも1つの方法である。今の計画を再構築し、組み立て直してみたい。</p> <p>5 養父市の総合計画の組み立てについて (事務局) 別紙の「現在の養父市総合計画の組み立て」により説明。</p>							

6 ワークショップ

- (1) グループ分け：今まで一番話していない人とペアになり、一番落ち着く場所へ移動。近くの人で4人ずつのグループになり、1班から4班に分かれる
- (2) 自己紹介シートに基づき、自己紹介
- (3) 「養父市の望ましい将来像を組み立てる」を話し合う。現計画の柱、施策、単位施策と、前回の「望ましい将来像を組み立てる」で出た意見を全部合わせ、必要に応じて、追加、訂正、削除しながら、柱、施策、単位施策に分類整理する。

7 各グループ発表

- (1班) 柱の作り直し。「人間力」、「ふるさと力」、「資源力」、「総生産力 (The money)」では、65 歳以上の人が1月3万円を稼ぐことにより、元気なお年寄り日本一を目指す。最後は「行政改革の推進」。
- (2班) 柱に「人づくり」を追加。助け合い、支え合うまち。ボランティア、女性、高齢者、地域リーダーが参加しやすいまちづくり。
- (3班) 「人づくり」、「安心」、「働く場づくり」、「資源の活用」、「快適」、「高齢者」、「行政改革」の柱立て。
- (4班) 養父市の目指すところを「教育 (共育・協育・公育) のまちづくり」と設定。すべての命を大切に。子どもが楽しく成長するまちを目指す。施策としては、「子育て教育環境」、「地域産業を活用した産業」、「伝統、高齢者の力」とする。

8 全体のまとめ

(松原アドバイザー) 本日の発表を元に、事務局でたたき台を作り、将来像、構想を提示する。次に、どこに重点を置くのか議論を深める。

9 閉会

(正垣副会長)

【その他委員提案】

(池田委員) 審議会の回を重ね、お互いに知り合いになった。会議の時には車に乗り合わせて来たり、「マイカップ」を持参したり、CO2削減に努めてほしい。※拍手で賛同。